

ZL-3001 フォーセット 2ハンドル混合栓

施工・取扱説明書

〔三つ穴タイプ〕

施工前・使用前に必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

このたびは、2ハンドル混合栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

本製品について

- 本製品は一般住宅洗面所用の2ハンドル混合栓です。

施工の前に…。

- 温泉水・中水・飲用不可な井戸水には使用しないでください。
- 凍結が予想される場所には設置しないでください。
- 元止式湯沸器には使用しないでください。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。

使用圧力条件について…。

- 給水圧力が0.7MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
- 給水・給湯圧力は圧力差があると、温度調整がしにくくなります。やけど防止のため、給水圧力は、給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
*電気温水器と組み合わせる場合は、特にご注意ください。

安全上のご注意

施工される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

注意 気をつけていただきたい「注意」を表します。

禁止 指定した場所に触れないでください。

禁止 してはいけない「禁止」を表します。

強制 必ず実行していただく「強制」を表します。

施工上のご注意

| | |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ⊘ | <ul style="list-style-type: none"> ●湯と水を逆に配管しないでください。やけどや器具破損の恐れがあります。 ●配管内の、ごみや砂などは完全に洗い流してください。 ●給湯温度は85℃以上で使用しないでください。85℃より高温で使用されますと、製品の寿命が短くなるだけでなく、各部品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。 ●製品にもたれるなどして無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。 |
| ⚠ | <ul style="list-style-type: none"> ●他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯をご使用中に湯温が急上昇することがあります。やけどの恐れがありますので、やけどの恐れがないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。 |
| ! | <ul style="list-style-type: none"> ●給湯機からの配管は、配管圧力損失を少なくするため最短距離で配管し、必ず保温材を巻いてください。 ●各部の接続を行う際はパッキンがついていることやそれらに破損・変形がないか必ず確認をしてください。漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。 ●水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ず設置してください。 ●給水・給湯配管および止水栓をキャビネットや流し台の裏側(壁の中)に配管(隠蔽配管)する場合は、必ず点検口を設置し、作業可能なスペースを確保してください。経年変化や劣化による漏水を発見できず、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。 |

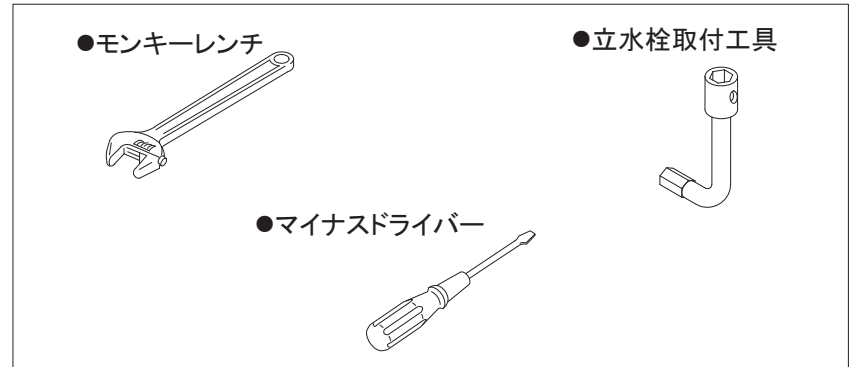
安全上のご注意

使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

使用上のご注意

| | |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ⚠ | <ul style="list-style-type: none"> ●湯側ハンドルのみを開く場合、高温の湯がそのまま出ます。取扱いには十分ご注意ください。 ●小さいお子様だけの使用は避けてください。やけど、けがをする恐れがあります。 ●他所の水栓を同時使用されると、やけどの恐れがありますのでご注意ください。同時使用により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。 |
| ⊘ | <ul style="list-style-type: none"> ●給湯温度は最高85℃まででお使いください。誤った操作によるやけどを防止するため、給湯温度は60℃程度をおすすめします。 ●製品にもたれるなどして無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。 |
| ⊘ | <ul style="list-style-type: none"> ●高温の湯をご使用の際は、吐水口(パイプ)に直接肌を触れないでください。吐水口(パイプ)は高温になっているため、やけどをする恐れがあります。 |
| ! | <ul style="list-style-type: none"> ●ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、配管からの漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。 ●湯をご使用の際は、水側ハンドルから開栓してください。その後ゆっくり湯側ハンドルを開栓し、お好みの温度に調節してください。湯側ハンドルを先に開栓すると高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。 ●湯をご使用後は、必ず水側ハンドルを開栓し、しばらく水を流してから止水してください。次に使用する際に、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。 ●可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので修理を依頼してください。 |

施工に必要な工具

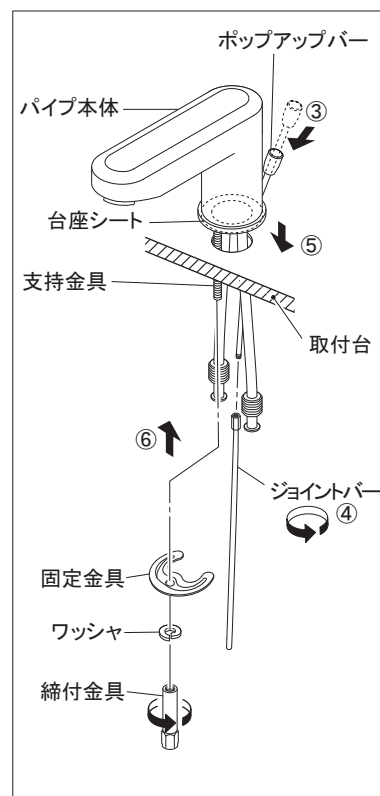


取り付けの前に

* 数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を閉めて取付作業を行ってください。

取付方法

1.パイプ本体を取り付けます。



- ①パイプ本体を設置する場所の取付穴径を確認します。
- ②パイプ本体の支持金具より締付金具・ワッシャー・固定金具を取り外します。
- ③パイプ本体後部のポップアップ取付穴にポップアップバーを差込みます。
- ④ジョイントバーをねじ込みます。
- ⑤パイプ本体下部の台座シートを確認し、取付台に差込みます。
- ⑥取付台下部より固定金具・ワッシャー・締付金具の順で取付け、締付金具を「立水栓取付工具」などでしっかりと締付け、パイプ本体を確実に固定します。
*パイプ本体を固定する際は、支持金具を取付穴に寄せた状態で固定してください。

取付方法 (つづき)

1. パイプ本体を取り付けます。(つづき)



- ⑦左図を参照し、取付状態を確認します。
 * 台座シートが取付台に全周接するように取り付いているか。
 * 固定金具が確実に取付台に掛かるように取り付いているか。

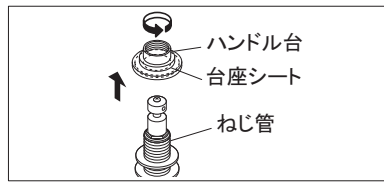
⚠️ パイプ本体が正しく固定されないと、グラつき、取付台下への漏水、部品の損傷の原因になりますのでご注意ください。

⚠️ 台座シートが取付台に接していない箇所があると、取付台下に水が浸入してグラつき、漏水の原因になりますのでご注意ください。

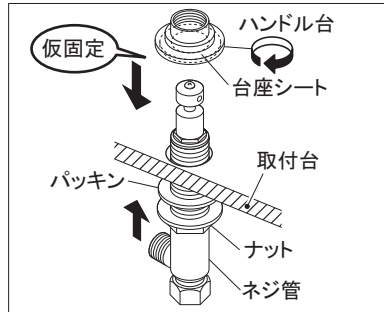
⊘ 締付金具は、締め過ぎないでください。固定金具が変形するまで締めると固定力がなくなります。

⊘ パイプ本体を固定した後に、位置調整を行わないでください。無理な力がかかり器具の破損やゆるみの原因になります。

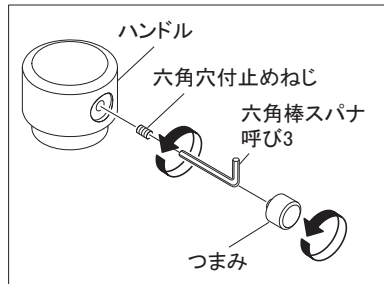
2. ハンドル本体を取り付けます。



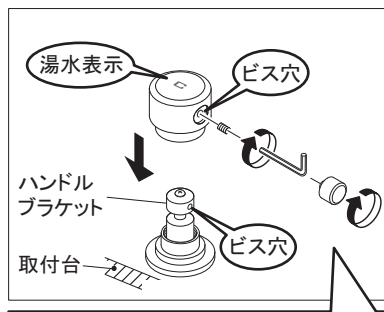
- ①ハンドル本体を設置する場所の取付穴径を確認します。
 ②ねじ管よりハンドル台を取り外します。



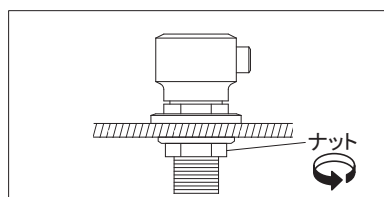
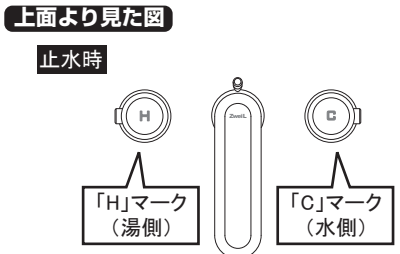
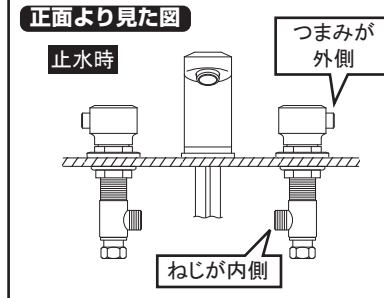
- ③取付台下部よりネジ管を差込み、ハンドル台を取付け、仮固定します。
 * ハンドル台下部の台座シートを確認してください。



- ④ハンドルよりつまみを取り外します。「六角棒スパナ」で、六角穴付止めねじをゆるめます。

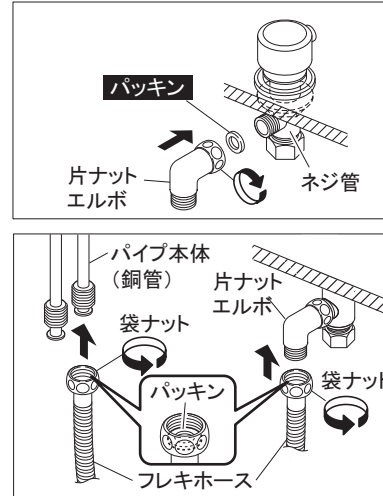


- ⑤ハンドルのビス穴とハンドルブラケットのビス穴の位置を合わせ、ハンドルをハンドルブラケットに差し込みます。
 * ハンドルの湯側・水側を確認してください。
 ⑥「六角棒スパナ」で六角穴付止めねじを締め付けてからつまみを取り付け、ハンドルを固定します。
 * ハンドルの向きが下図のようにならない場合は、ねじ管のナットをゆるめ、ねじ管の方向で微調整してください。



- ⑦取付台下部より「レンチ」などでねじ管のナットをしっかり締め付け、ハンドル本体を確実に固定します。

3. パイプ本体とハンドル本体を接続します。



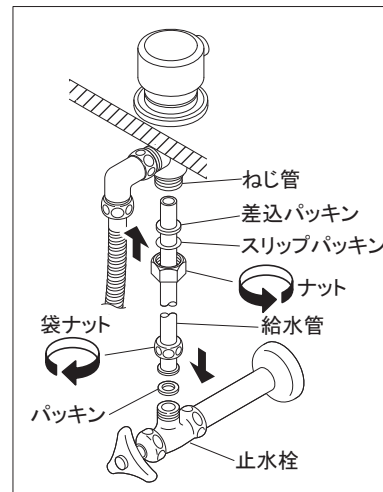
- ①ねじ管にパッキン、片ナットエルボを取り付けます。
 ②フレキホースにパッキンが付いているのを確認し、ハンドル本体の片ナットエルボとパイプ本体の銅管に「レンチ」などでしっかりと締め付けます。

⊘ 銅管は無理に曲げないでください。漏水を起こし、家財などを濡らす恐れがあります。

⚠️ フレキホースを取り付けの際は、あらかじめパッキンがついていることを確認してください。

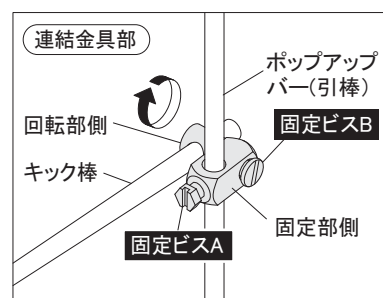
4. ハンドル本体と止水栓を接続します。

* 給水管・袋ナットは同梱されていません。



- ①ねじ管よりナット、スリップパッキン、差込パッキンを取り外します。
 ②給水管の必要長さを確認し、切断します。
 ⚠️ 給水管の差込み代は、約25ミリ確保してください。
 ③給水管に①で外したナット、スリップパッキン、差込パッキンを取り付けた後、ねじ管に差し込みます。
 ④給水管と止水栓を「レンチ」などで締め付け、固定します。
 ⑤ねじ管と給水管を「レンチ」などで締め付け、固定します。

5. 連結金具を接続します。



- ポップアップ排水金具の排水栓を操作するために、排水金具のキック棒と水栓のポップアップバーを接続します。
 排水金具のキック棒を下げた状態で、連結金具の固定ビスAを「マイナスドライバー」で締め付け、ポップアップバーに固定します。
 * 円滑に作動しない場合は連結金具の固定位置で微調整してください。
 * 調整後は、固定ビスA・Bをしっかり締め付けてください。

取付後の点検

- ①止水栓または元栓を開き、各部に水もれがないかを確認します。水もれが発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、水もれする箇所を施工し直してください。
 ②ハンドルを開き、湯水の混合具合および吐水状態を確認してください。
 * 適量、適温で吐水するために、止水栓で水量、湯量を調節してください。

本製品に関する質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせください。

アーキテクトサポート室 電話番号 **03 (3864) 1122**
 受付時間 月～金 **9:00～17:30** (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX **03 (3863) 6875**
 E-mail : support@sugatsune.co.jp
 東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
 LAMP印の機能&デザイン金物メーカー
 2013.07 PRINTED IN JAPAN 0733-1